



株式会社 唐沢農機サービスだより

私たちは、**農の心**と**インターネット**で地元農家を応援します。

日本一オシャレな農機具屋になりたい。 「唐沢農機サービス3.0」オープン！

令和元年7月6日、東御市の鞍掛に、わたしたちの本社が移転しました。「唐沢農機サービス3.0」の誕生です。初代の「唐沢SSサービス」が1.0だとすると、「唐沢農機サービス」の旧社屋が2.0。新しい社屋の名前は、さらにバージョンアップしたという意味で、3.0になりました。

新社屋にした理由はいくつかありますが、ひとつはショールームの充実です。多くの人たちに農機具をできるだけじっくり選んでほしかった。新品や中古の商品を見て、説明を聞いてもらい、実際に触って動かし、納得のうえでご購入いただきたいからです。

今はなんでもインターネットで買える時代。実際、わたしたちもウェブ上での農機具の売り買いを仲介する「ノウキナビ」というサイトを運営しています。いつでもどこでも、いろいろなモノやサービスが手に入れられるネットショップは、確かに便利です。ただ、

実物を間近に見て触れて買いたいのが、ヒトの素直な心情ではないでしょうか。そんなリアルな農機具選びができるのが「唐沢農機サービス3.0」です。また、在庫の数が多く、比較検討できるのもこの特長。将来的には三百台ほどは揃える予定です。



「唐沢農機サービス3.0」が目指したのは「日本一オシャレな農機具屋」。従来の農機具屋のイメージから脱却したい。

年齢や男女を問わずいろいろな方から「カッコいい」と言われる社屋にしたいと思いつくりました。ただ、それは「上品とか華やかと表現されるようなものではなく、シンプルで開放感があるスペース。どこか都会の臭いがするような、ガレージオフィスのような空間です。わたしたちの夢は、いつか「農業ってカッコいい」と言われるようになること。ここがそのベース基地になればと思います。

これまで本社として機能していた建物は、従来どおり整備や修理を行う整備センターとして営業。事務所だった部分は農業事業部の出荷場になります。冷暖房完備の清潔で快適な出荷場。さぞ、作物たちも美味しくなって送り出されることでしょう。

新バージョンの「唐沢農機サービス3.0」。 ここで働く新人たちを紹介します。

ショールームの隣は、 インターネット事業部。

「唐沢農機サービス3.0」は、ショールームとオフィスを兼ねています。ここでデスクワークをしているのは、おもにインターネット事業部の社員たちです。いい機会なので、真新しい職場で働く、フレッシュな新人たちに、移転した感想を聞いてみることにしました。

カッコいいオフィスで、 カッコよく働きたい。

今年の4月に入社した土屋 喬椰(たかや)です。ITエンジニアをしています。AmazonやYahoo!で農機具を販売するネットショップ「タグヤス」の運営がおもな仕事です。新社屋の印象は、「解放感があり、シンプルでカッコいい」。同じ学校の卒業生で、東京の企業に入った同級生から聞く職場環境と比べても「都会的」と感じます。

旧社屋にはインターネット時代を含めると10ヶ月いましたが、工場が一緒だったので雑音に悩まされることが嬉しかったことのひとつです。前のオフィスもそこそこカッコよかったです。

けれど、ここはもつとオシャレ。自分もさらに頑張つて、カッコいい仕事をします。



新キャリアのスタート。 舞台としては最高。

ディレクターをしている山本 諭(さとし)です。東京の市場調査会社に長くお勤まりして、実家の事情でUターンしてきまされた。市場調査はマーケティング活動の一部ですが、ここはそのすべてをやっている会社です。社会人になりたての頃から、知的好奇心を満たしてくれるマーケティングがやりたかったわたし。そんな願望を叶えるべく、入社以来いろいろなことを勉強させてもらっています。

この新しいオフィスはまだ数週間しかいないけれど、広々としていて、ゆとりをもって仕事ができるような予感。わたしの新しいキャリアを磨く舞台としてはベストだと思えます。44歳の再スタートを、こんなステージで切れることはとても幸せなことです。



心機一転。心もフィールド もリセットです。

オフィスのオープンと同時に入社した原 快(かい)です。出身は神奈川県ですが、長野が大好きで14年前に移住してきたIターン組。前職は電子部品を製造している会社で営業をしていました。

「単に農機具を売るのではなく、農家を盛り立てるインフラをつくるべくチャレンジしている」。この会社には魅かれたのは面接の時、社長から聞いたこのコトバです。転職を考えるにあたり、「安定」に留まるか、「挑戦」に賭けるのか、半年間悩みました。前の会社はそれなりに名は通っており、妻と子ども二人をなんとか養っていけるはず。ただ、こんなチャレンジングな会社で働けるチャンスは、これから先、巡ってくるだろうか。「否」と判断したわたしが、心機一転、いまこのデスクに座っています。出来たてのオフィスが、思い切つてリセットした38歳のフレッシュマン(?)を優しく包み込んでくれるようです。



使わなくなった農機具。買い取ります。出張・査定・回収 無料

どんなに古くても、エンジンが掛からなくても大丈夫です。まずはお電話ください。TEL 0268-62-5262 (9:00~17:00 土日祝除く)

“ノウキナビ”にご興味がある方は [ノウキナビ](#) “農家直売どっとこむ”にご興味がある方は [農家直売](#)

「インターネット事業部発」元気な地元の企業様をご紹介します。



cre8. 自社サービスや一般企業様のホームページリニューアルなど、クリエイティブワークを行うインターネット事業部が「ビーズクリエイト」です。ここでは、「ビーズクリエイト」が、最近ホームページづくりをお手伝いした企業様をご紹介します。

今回は、東御市下之城の「有」田中製材工業「さん」をご紹介します。

地域材で木組みの家づくりを進める「ギグミノイエ」。

「ギグミノイエ」というのは、田中製材工業さんが建てる木の家のブランド名。「ギグミノイエ」は、地域産の無垢の木をふんだんに使い、「木組み」でつくる、木の良さを存分に引き出した木造住宅です。

「木組み」とは、木と木を組み合わせる日本の伝統工法で、ボルトなどの金属は使いません。むかしからの神社やお寺などで使われているのもこの工法。幾度の震災に見舞われても、社寺の被害が少ないのは、「この「木組み」でつくられているからです。」「ギグミノイエ」は、職人が手づくりで丹念に組み上げることで、木の柔らかな風合いと強さを併せ持つ木の家になります。

木のプロだからつくれる、「暮らし」を楽しむ空間。

田中製材工業さんは、社名でおわかりいただけたらと思いますが、元々は製材会社。材木を熟知しています。地元の森林で年輪を重ねた杉、桧、カラマツな



どの原木。それを厳選して仕入れて、切り分けて丁寧に乾燥させることが、「ギグミノイエ」の家づくりのスタートです。いま、一般的な木造住宅で使用されているのは集成材ですが、「ギグミノイエ」では無垢の木しか使いません。集成材で使われている接着剤のなかにはホルムアルデヒドを含むものもあり、これはシックハウス症候群の原因のひとつです。「ギグミノイエ」が使用する無垢の木は、健康を害することもなく、見た目も香りもすべて天然。心身ともに住む人の健やかな暮らしを末永く支えます。

「ギグミノイエ」をつくるのは日本の技。いまや貴重な伝統工法です。木を見て刻み、組み上げる大工の熟練の職人技。壁塗りには経験豊かな左官の腕が光ります。

「ギグミノイエ」第一号邸「追分の家」、建前の日。

「ギグミノイエ」ブランドの記念すべき第一号である「追分の家」の建前がありました。建つのは軽井沢の追分地域。浅間山の雄大な姿が間近に見える風光明媚なところです。依頼主がこの地を選んだ大きなポイントが、浅間山を借景にしたかったから。日々変化する浅間山の表情を毎日眺めていたかったからです。建築自体に関しては、景観に合うように、自然素材を使いたいというご要望。基本的には、木を多用した木造建築にしたいということでした。その点は「ギグミノイエ」の得意とするところ。依頼主のご要望に対して完璧にこたえるカタチで事は進み、建前に至ったそうです。

有限会社 田中製材工業

〒389-0405 東御市下之城753

TEL:0268-67-2139

http://www.tanakaseizai.jp/

「ノウキナビ発」農機具お役立ち情報



唐沢農機サービスは、インターネットで中古の農機の「売りた」「買いたい」を仲介する「ノウキナビ」というサイトを運営しています。このブログでは、いろいろな農機について情報を発信中。なかでも皆様のお役に立てそうな記事を、ひとつひとつご紹介したいと思います。

バインダー(稲刈り機)は、中古品で申し分ありません。

収穫シーズンはまだなのに、なぜバインダーのおハナシ?

その他、メカニクに関わる不調も考えられます。

田植えが終わわり、稲がスクスク育って、田んぼには水が満ちている今日この頃。「どうして、この時期に秋に使うバインダーの話なの?」と思った方もいらっしゃるでしょう。それには理由が。農機具はシーズン直前が購入のピークです。需要が多く良品の中古が品薄になる可能性があります。ですから、より程度が良い機械を求めると、早すぎると思うぐらいのタイミングがいいのです。最近、展示会などを見ると、中古農機の先取り買いのお客様が増加する傾向にあります。田植シーズンに田植機よりも、バインダーやコンバインの方が売れた実績もあるほどです。

紐によるトラブルの次に多いのは、紐ブレイキと結束ガイドの摩耗。これはわかりにくいので、専門家に診てもらったほうが無難です。また、搬送ベルトがすり減っていたり、結束機の油切れなども考えられます。いずれにしても、紐を変えること以外で結束不良が出たら、農機具屋さんにご相談することが得策です。

1年に2日ほどしか使わないバインダーは、中古で十分です。

バインダーで起るトラブル、ほとんどが結束不良です。

紐がうまく束ねてくれない。バインダーにおける不具合はおおむね結束の不良です。その原因の7割は、紐が古い、汎用の安いモノを使っているなど、紐そのものにあります。解消の近道は、新品の純正紐に変えることです。純正の紐は、高精度で太さが均一。ちよつと価格は高くなりますが、驚くほどの差が出ます。

収穫でバインダーを使っている方の使用頻度はいかほどでしょうか。個人差はあると思いますが、年間に1〜2日ぐらい。長くても3日ほどかもしれません。ということ、あまり使っていないので中古でも状態がいいということとです。逆に、1年のほとんどを倉庫に置かれるバインダーは、新品で購入しなくてもいいのでは。中古で十分ということになります。せんか。稲作面積が少ない農家さんや、はぜ掛けでの乾燥にこだわる方には中古のバインダーがおススメです。



お待たせしました。草刈機のレンタル始まる。

乗用モア ¥19,800税別 (1日)

ゴーカート感覚で草を刈れる乗用タイプの草刈機。広い敷地でも短時間で楽に作業ができる機械です。14馬力・刈幅820mm・刈高10~70mm・HST無段変速

ハンマーナイフモア ¥14,800税別 (1日)

ハンマーナイフが草を粉々に粉砕してくれる自走式草刈機。長い草でも細かくなるので刈った後に処分する手間がありません。8馬力・刈幅650mm・刈高20~70mm・前進3段/後進1段

スパイダーモア ¥9,800税別 (1日)

フリーナイフ仕様の自走式草刈機。斜面に強く、石の多い場所、背の高い草に威力を発揮します。79.4cc・刈幅500mm・刈高35~70mm・前進2段/後進2段

新本社(展示場)は、県道79号(浅間サンライン)の鞍掛交差点と、国道18号の菅平入口交差点を結ぶ県道4号(真田東部線)沿い。(株)タック様の向かい側。

